



日本包装専士会 Institute of Certified Packaging Professionals, Japan

日本包装専士会は（公社）日本包装技術協会が主催する東京国際包装展のいろいろな催しに
関連団体として継続的に参加しています。今回もTOKYO PACK 2024に来場の方々に活動紹介
や提案を行いました。内容が多岐にわたりますので、3回に分けて報告させていただきます。

第1回：包装力向上セミナー ～ 未来包装研究委員会

「学生と共に考える“パッケージに求められる未来のサステナビリティ”

第2回：「包装の未来予測」 ～ 未来包装研究委員会

第3回：「日本包装専士会の活動と包装の歴史」 ～ 展示委員会

包装力向上セミナー 【学生と共に考える“パッケージに求められる未来のサステナビリティ”】

◆講演

① 国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域資源循環社会システム研究室 稲葉睦太氏

② 学生の活動紹介

- ・日本女子大学 家政学部 食物学科 食品学・食品包装学研究室（北澤准教授）
- ・東京農工大学 農工大プラごみ減らし隊
- ・東京大学 東京大学GX学生ネットワーク

③ 環境省「サステナビリティ広報大使」・お笑い芸人・ごみ研究家 マシガンズ滝沢秀一氏

◆出演者によるディスカッション

TOKYO PACK 2024で3回目となる今回の企画も専門家や学生などいろんな方向からの意見
交換を行うべく、マシガンズ 滝沢秀一氏と国立環境研究所稲葉睦太氏をお招きし、日常のご
み収集作業から見えてくる課題や専門的な知見をお聴きしました。また、学生の皆さんからは
日頃の環境負荷の軽減、プラスチックごみの減量、リサイクル等の活動の中で感じている懸念
やパッケージの持つ有効性などを披露していただきました。

「気候変動対応や包装廃棄物対策について世界で日本がリードできているか」などの大きな
設問から「資源やごみの分別」、「賞味期限の延長と包装の効果」などの身近な設問に対して
出演者らが各々“Yes” or “No”の立場から活発にディスカッションを行ない、会場を大いに盛り
上げました。

